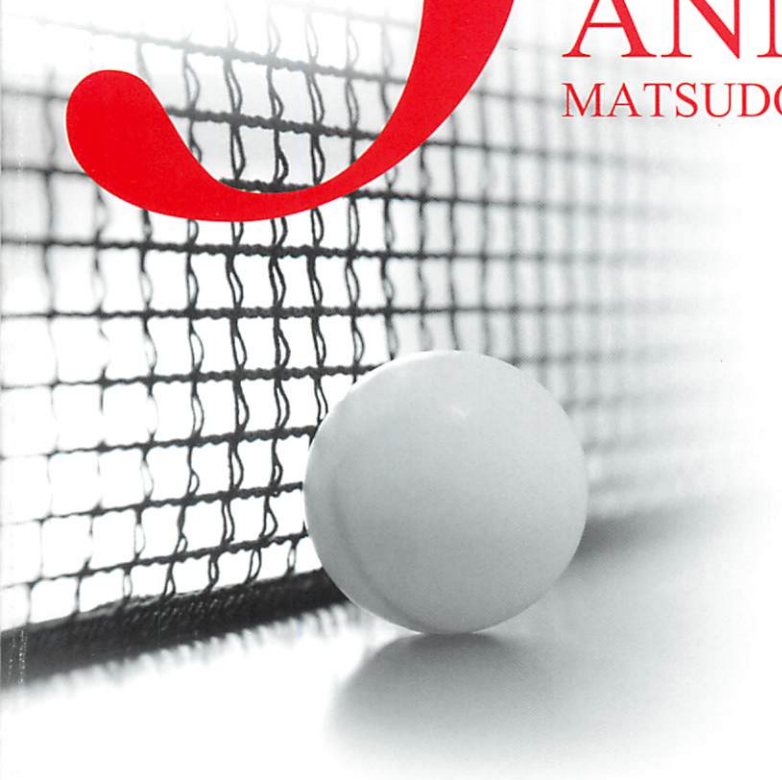
50th ANNIVERSARY

MATSUDO TABLE TENNIS ASSOCIATION



松戸市卓球協会 創立50周年記念誌

飛　躍

平成25年度50周年記念秋季団体リーグ参加者

松戸市卓球協会

平成25年度

松戸市卓球協会
創立50周年記念誌

目　次

ご挨拶　・・・

ご　挨　拶

松戸市卓球協会
会長　**村　上　正　文**

本年、お蔭様にて松戸市卓球協会創立50周年の式典を催す運びとなりました。これも偏に関係各位の永きに亙る御指導、御支援のたまものと感謝申し上げる次第です。 また、多くのご来賓に華を添えて頂き、50年の節目を共に祝うことが出来るのは会員一同の大きな幸せと、喜びとするところであります。

扨、私が会長職を拝命して、約満20年、そして協会の50年に当たり、私ごとですが、ある「お言葉」を改めて想い起しています。それは、日本大学卓球部の総務に私が任命された折、当時の部長であった故檜山興八郎先生から頂いた役員の心得です。「選手があるから、役員が必要となるのです。人間、決して驕ってはなりませんよ。」更に「権や威で人を圧服するのでは無く、敬服されるよう、常に心掛けなさい。」以来、この二項を念頭に置いて行動して来た積りでしたが、果たして一歩でも近づけ得たか、この20年を振り返ると、至らなさがいかに多いかを唯々痛感している所です。50周年にあたり、「初心に還る」を私のキーワードといたします。試合がしたい一念で卓球台を運んでまでも大会を運営した協会創設期の選手、役員の一体感と熱意、この時代の精神をしっかりと見つめ直すことが肝要と考えているからです。

我々も、ここ一番、新たな心構え、意欲を奮い立たせて先人に負けぬよう、次の60年、70年に向け力強く前進する事を誓うものであります。

終わりになりましたが、関係各位の更なるご指導、ご鞭撻を心よりお願申し上げます。

創立50周年を祝して

松戸市長　**本郷谷　健　次**

松戸市卓球協会が設立50周年という大きな節目を迎え、記念誌を発行されますことは誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

スポーツは、健康で文化的な生活を営む上で極めて大切なことであります。そうした中で、貴協会は設立以来、卓球を通じて生涯スポーツの振興並びに地域社会の活性化に多大なる貢献をされております。

これも偏に、村上会長をはじめ歴代の会長や役員の皆様の情熱と弛まぬ努力の賜物と存じ、深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げる次第でございます。

近年、健康志向の高まりから、市民の皆さまのスポーツに対するニーズや関心も一段と高まってきております。　本市では、生涯スポーツの普及と推進について、誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる環境づくりに全力で取り組んでまいります。皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、松戸市卓球協会の今後益々ご発展と、会員各位のご健勝、ご活躍を衷心より祈念申し上げまして、50周年のお祝いのご挨拶といたします。

matsudo

やさシティ、まつど　市制70周年

祝 50 周年に寄せて

松戸市議会

議長　**小　沢　暁　民**

松戸市卓球協会が創立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴協会は昭和39年に設立され、以来、発展の一途をたどり、約650名に及ぶ登録者が学校やクラブ、実業団など幅広い分野で活動するなど今日の隆盛を見ております。

これも偏に村上会長を始め、関係各位に連綿と受け継がれてきた卓球に寄せる情熱と並々ならぬご労苦の賜物と深く敬意を表する次第であります。

本市における卓球競技は、国民体育大会等数々の大会での栄誉や全国・世界レベルの選手の輩出など、これまでの栄光の足跡は輝かしいの一語に尽きますが、新たな歴史の中に、「2020年東京オリンピック卓球競技松戸市からオリンピック選手誕生」という夢を抱かずにはいられません。

どうか、この50周年を契機といたしまして、益々団結され、本市の卓球競技のさらなる普及、競技力強化に尽力され、本市のスポーツ振興を牽引していただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と選手各位の更なるご活躍を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

松戸市卓球協会設立50周年を祝して

松戸市教育委員会
教育長　**伊　藤　純　一**

松戸市卓球協会設立50周年、誠におめでとうございます。

貴協会は、昭和39年に設立されて以来、本市卓球競技の普及・振興に力を注がれ、ここにめでたく設立50周年を迎えられました。

これもひとえに協会設立にご尽力された方々をはじめとして、永年にわたり運営に携われました関係の皆様のご努力の賜と深く敬意を表します。

本市の卓球競技におきましては、貴協会の指導者の皆様の熱意とご努力により、各種の全国大会等で多くの選手が好成績を収められております。また、スポーツ少年団からシニアの方まで幅広い年齢層の間で競技が盛んに行われており、貴協会の本市スポーツ振興へのご尽力に対し、ここに改めて感謝申し上げます。

2020年には東京で二度目のオリンピックが開催されることが決定いたしました。是非高い目標を目指すとともに、この50周年を契機として、ますます一致団結され、本市卓球競技の更なる普及・振興並びに競技力の向上にご尽力されますようお願い申し上げます。

終わりに、「松戸市卓球協会50周年記念誌」が上梓されますことを心からお祝い申し上げ、貴協会のますますのご発展と、関係者各位のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝の言葉とさせていただきます。

祝　　辞

一般財団法人松戸市体育協会
会長　**岡　本　和　久**

松戸市卓球協会が創立50周年を迎えられるにあたり心よりお祝い申し上げます。

併せて記念事業の一環として記念史を上梓されますこと本市のスポーツ振興の上からも誠に意義深く重ねてお慶びを申し上げます。

私が体育協会に関わるようになった昭和47年当時、松戸市卓球協会は会員数も多く協会の組織もしっかり強化され、県民体育大会での活躍はもとより各種の全国大会でも輝かしい成績をあげられる選手が大勢おられたと記憶しています。特に昭和55年の『日中交歓卓球大会』では、松戸運動公園体育館に中国選手を迎えて本市選手との熱い戦いを今でも思い出されます。

今日の松戸市卓球協会の隆盛は関係各位の永年に亘っての並々ならぬ努力によるものと関係者の皆様に心より敬意を表します。

競技スポーツとしての振興はもとより生涯スポーツとしての卓球を楽しみたいという市民ニーズは今後も益々大きいものと思います。

50周年を節目として今後松戸市卓球協会がさらに発展されることをご祈念申し上げお祝いの辞と致します。

松戸市卓球協会50周年を迎えて

松戸市卓球協会
名誉会長　**中　村　　修**

松戸市卓球協会が昭和39年に再発足し50周年を迎えられたこと大変嬉しく思っております。村上正文会長はじめ役員各位のご努力、松戸市役所をはじめとする関係各位のご指導とご鞭撻、そして会員の皆様のご協力とご支援で当協会が発展を遂げていることに対し感謝を申し上げ、深く敬意を表します。

この50年を顧みますと協会再発足時のことが昨日のように思い浮かびます。私が勤務しておりました荻村化学が東京都から松戸市に移転したのは昭和36年のことでした。翌年、松戸市教育委員会にお伺いしました処、体育協会傘下に卓球協会は在籍されているものの役員も登録されず活動が休止されていることを知りました。昭和38年に松戸市役所勤務の高杉宏希氏にお目にかかり、卓球協会再発足について相談しながら準備を進め、昭和39年に協会の活動を再開することが出来ました。昭和40年に協会の会長に就任し、副会長の片山陽理氏、理事長の高杉宏希氏と共に卓球協会の運営を開始し致しました。

亦、荻村化学社内では、「千葉県を代表し、全日本実業団選手権大会に男女共に出場可能な卓球部の創設」を提案し、私と血縁の荻村伊智朗（元世界チャンピオン）を通じ、世界選手権で監督を務められた長谷川喜代太郎氏の長男、長谷川実氏（大学卓球選手）に入社を願い、チームを結成しました。

会長在任27年間に、荻村化学チームが全日本実業団選手権大会でベスト８に５回進出し、松戸市の卓球の普及に貢献出来たこと、昭和49年に運動公園体育館が完成し全国都市対抗卓球競技大会と日中交歓卓球大会が開催出来たこと、家庭婦人卓球連盟をスタートさせ全国大会に監督として引率したこと等が思い出されます。

御一緒した片山陽理様と高杉宏希様の御他界、誠に残念です。心から御冥福をお祈り申し上げます。

松戸市卓球協会の今後益々の発展を心より願っております。

松戸市卓球協会50年のあゆみ

松戸市卓球協会年表

昭和23年	第１回松戸市民卓球大会開催
25年	松戸市卓球協会創設、竹内敬一氏が初代会長就任
26年	橋本林次氏が第２代会長就任、６番目の団体として松戸市体育協会に加盟
34年	松戸市卓球協会活動休止
39年	松戸市卓球協会を再発足、新納健司氏が第３代会長就任、体育協会に再加盟
40年	中村修氏が第４代会長就任
43年	松戸市の選手を主力とする千葉県勢が国民体育大会で準優勝
49年	運動公園に体育館が完成
	松戸市で第28回全国都市対抗卓球競技大会を開催
52年	第30回千葉県民体育大会で松戸市が初の男女アベック優勝
53年	協会内に松戸市家庭婦人卓球連盟を結成
55年	松戸市で日中交歓卓球大会を開催
平成元年	ラージボール卓球同好会が発足
５年	ラージボール卓球部門を市の社会教育関係団体に登録し本格的な活動を開始
６年	村上正文氏が第５代会長就任
９年	第50回記念千葉県民体育大会で松戸市が３度目の男女アベック優勝
11年	柿ノ木台公園体育館が完成
15年	松戸シニア親善リーグ「Ｓリーグ」をスタート
18年	家庭婦人卓球連盟を「松戸市レディース卓球連盟」に改称
26年	松戸市卓球協会50周年記念式典を森のホール２１で開催

30周年記念式典（平成６年）

40周年記念式典（平成16年）

昭和25年　松戸市卓球協会の創設

昭和23年、松戸市の第１回市民卓球大会が小山公民館で開催された。この大会に参加した数名が、練習の機会を一緒に持つようになり、その集まりの中で卓球協会設立の準備が進められた。

発起人メンバーであった、松戸市役所に勤務していた白井源治氏や世話役兼指導者であった薮崎嘉雄氏と記念すべき第１回大会の優勝者であった片山陽理氏を中心に会合が重ねられ、初代会長に竹内敬一氏（元教育長）が就任し、松戸市卓球協会が昭和25年に設立された。

昭和26年には松戸市体育協会に６番目の団体として加盟、協会の役員、幹事も決まり、会長は橋本林次氏に代わり、本格的な活動が開始された。当時は、千葉県立松戸高校や市内の小学校の体育館で、春秋２回の大会が開催され、卓球台の運搬や会場の進行は、千葉県立松戸高校卓球部の協力で行われた。

昭和27年にインドのボンベイで開催された第19回世界卓球選手権に初参加した日本選手団の４種目制覇の偉業は、大幅な卓球人口の増加をもたらした。しかしながら、全国的なブームの到来も、松戸市の技術レベル向上には結びつかなかった。当時市内には大きな企業もなく、まれに強い選手が在住しても、活躍の場を東京に求め、せっかく盛りあがった協会の活動も、会場確保の問題が続いていた。予算不足から協会主催の大会数もしだいに減り、衰退から休止への道を歩まざるを得なかった。それは昭和34年のことであった。

写真は昭和27年に南部小体育館で開催された千葉県民体育大会予選会の模様

昭和39年　協会の再出発

昭和30年代後半になると、松戸市の工場誘致政策が実を結び、続々と大きな工場が市内に立ち並び始めた。各企業内で卓球の愛好者が増え、工業団地を中心に卓球大会が開催された。これを契機に市民卓球大会開催の声も高まり、卓球協会復活への機運が高まった。

昭和39年、荻村化学、三基産業、松戸市役所などの卓球愛好者が数多くの会合をもち、協会再発足の準備が進められた。当時の社会教育課の指導を受けながら、卓球協会が復活する運びとなった。第３代会長に新納健司氏が就任、同時に松戸市体育協会にも再加盟し、再出発の第一歩を踏み出した。

しかしながら、協会の運営は初期と同様、困難なものであった。当時は、小中学校の体育館を借りて大会を行っていたが、学校の行事等の関係もあり、年間を通しての計画的な大会の開催は不可能であり、総合体育館の建設が熱望された。

昭和40年代の大躍進

昭和40年に荻村化学にいた中村修氏（日本卓球協会参与、千葉県卓球連盟名誉副会長、松戸市卓球協会名誉会長）が新会長に就任した。荻村化学の卓球部強化の方針もあって、有名選手が松戸市に集まった。特に荻村化学チームの一員であった古川敏明選手は、昭和46年に名古屋で開催された第31回世界選手権大会に男子シングルスと混合ダブルスで日本代表として出場した。混合ダブルスでは、世界選手権で男子シングルス３連覇の偉業を達成した、荘則棟ペアに勝利する大活躍をした。翌年、北京で開催された第１回アジア選手権大会にも出場し団体優勝に貢献した。昭和50年にカルカッタで開催された世界選手権にも出場している。

第31回世界選手権名古屋大会出場の
古川敏明・井上キヨ子組

第１回アジア大会優勝の全日本男子チーム
〈荻村商事株式会社 卓球ジャーナル
昭和48年アジア大会特集号提供〉

第33回世界選手権カルカッタ大会出場の日本選手団
〈写真提供：日本卓球協会〉

また、荻村化学チームは、昭和40－46年に連続７回千葉県代表として、全日本実業団卓球選手権大会（硬式）に出場し、ベスト８に５回進出するなど、松戸市の卓球普及に大いに貢献し、松戸市の卓球が千葉県下で注目されるようになった。

昭和43年には松戸市卓球協会所属の選手を主力とする千葉県勢が、国民体育大会の団体戦で準優勝、翌年に３位の栄誉に輝いている。

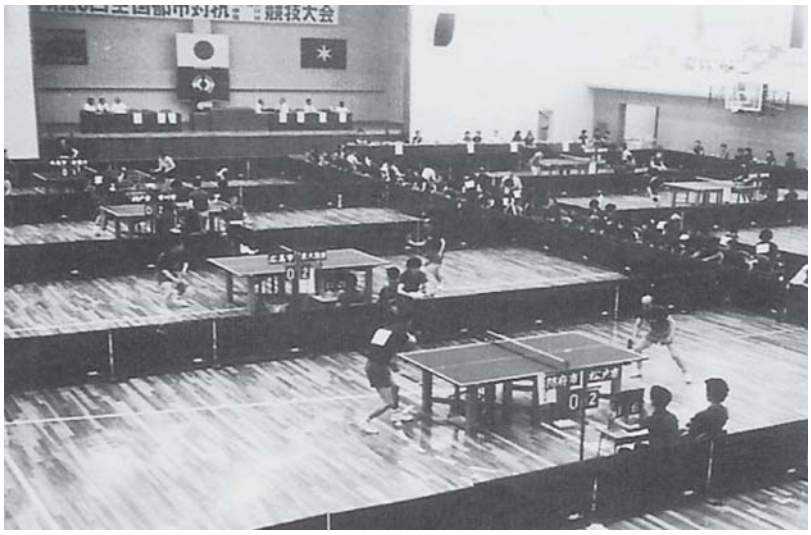
全日本軟式卓球選手権大会で北村秀樹選手（男子ダブルス・混合ダブルス優勝)、八代幸雄選手（男子ダブルス優勝)、栗谷川正子選手（女子シングルス・混合ダブルス優勝) が全国制覇を成し遂げた。その他鎌田信幸選手、本橋直子選手が全日本選手権などの大会で活躍した。

高校関係では、昭和40年に千葉県立松戸高校の女子が千葉県高校選手権に団体優勝し、松戸市からはじめて全国大会へ進出した。昭和40年代中頃からは、専修大学松戸高校から優秀な選手が輩出し、千葉県下はもとより、インターハイなどでも活躍した。

昭和49年　運動公園体育館が完成

昭和49年に待望の運動公園体育館が完成した。卓球台を30台以上も並べられる体育館の完成により、協会行事としての大会開催数も多くできるようになった。この新しい体育館の竣工を記念して第28回全国都市対抗卓球競技大会が開催された。大会の準備や運営に当協会も参画し、初めての全国規模の大会を大成功で終えることができた。

運動公園体育館全景



全国都市対抗卓球競技会場（手前コート 松戸市と防府市の熱戦）

模範試合終了後の市役所卓球部との集合写真

昭和52年には、千葉県市役所職員大会（卓球の部）が松戸運動公園体育館で行われた際に世界チャンピオンの荻村伊智朗氏と河野満選手、世界選手権代表の古川敏明選手による模範試合が行われた。

平成11年には協会事業の大会が行える２番目の体育館が柿ノ木台公園内に完成し、千葉県民大育大会予選、新人戦等の中規模大会が効率良く開催できるようになった。

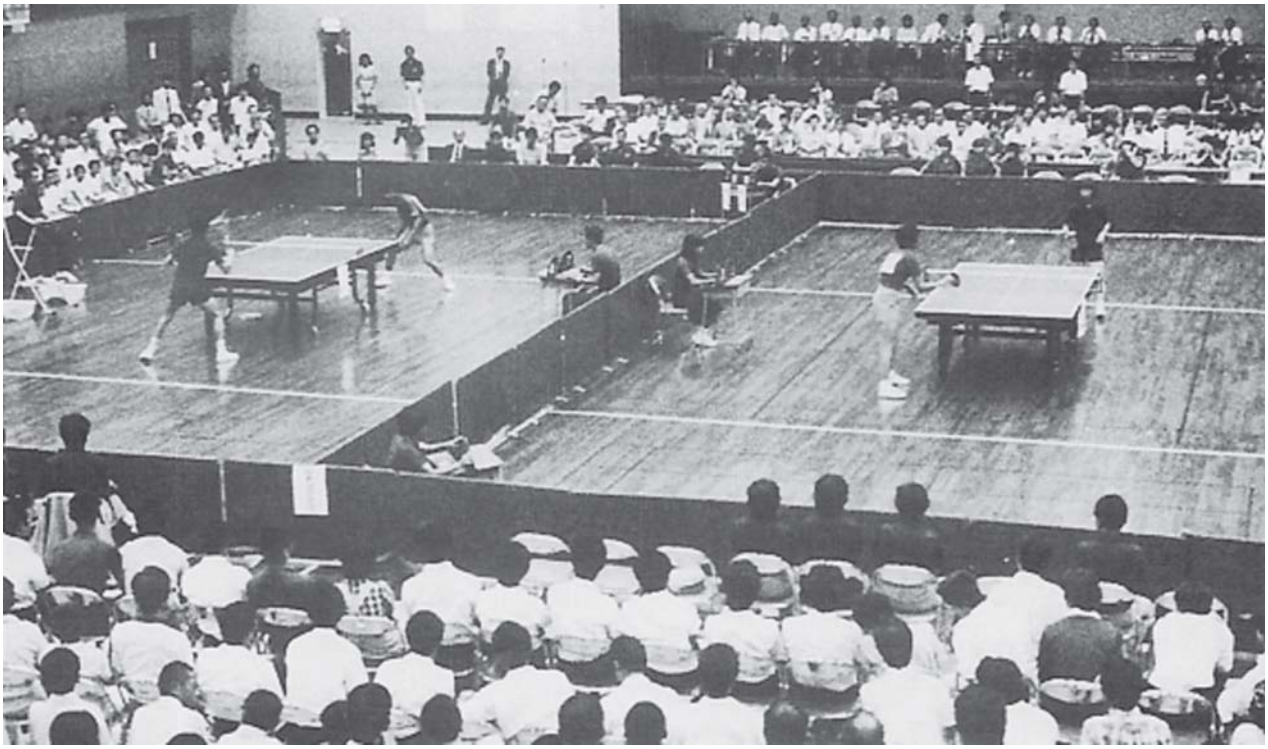
また、柿ノ木台公園体育館のプレールームは火・木・土曜日が卓球開放日になっており個人やグループの練習場として一般解放されている。

柿ノ木台公園体育館全景

プレールームでの練習風景

昭和55年　日中交歓卓球大会の開催

昭和55年に、協会はじまって以来のイベント、日中交歓卓球大会が松戸市で開催された。親善大会とはいえ、世界に名だたる中国選手を迎えての国際的な大会を運動公園体育館で開催し、中村会長（当時）が日本選手団の団長として中国と対戦出来たのは大変名誉あることであった。



日本代表選手の五十嵐一郎選手（左・手前）、古川直子選手（右・向う側）が中国選手と対戦し、多くの市民の前で熱戦を展開した

昭和50－60年代　家庭婦人卓球連盟の誕生と全国レベルでの活躍

昭和50年頃から、松戸市教育委員会主催による卓球教室が協会の指導で定期的に開催されるようになった。これは、家庭婦人の卓球振興に大いに役立った。

この卓球教室で、羽住愛子さん、朝倉里子さん、風口和子さん、坂下満子さんの各講師が積極的に指導に当たり、昭和53年に、これら講師が世話人となって「松戸市家庭婦人卓球連盟」が結成された。その後、協会傘下の組織となった。昭和54年に第２回全国家庭婦人卓球大会（三重大会）に初出場し、第５回奈良大会にも出場するなど、関東大会や全国大会でしばしば上位入賞を果たした。

三重大会団体戦での古川直子（左奥）・風口和子組

奈良大会入場行進（先頭は田河監督）

中学生では、新聞にも紹介された近藤弘先生他の指導で六実中がしだいに実力をつけた。各校がこれを追う形となり、中学生の卓球熱は県下でも１、２位を争うほどになった。

昭和52年に六実中男子が松戸市から初めて全国中学校大会に出場した。昭和54年には、決勝トーナメントに進出し青森佃中と対戦した。昭和55年に六実中男子は、千葉県大会で団体５連覇を達成し、千葉県中体連史上の新記録を樹立している。

六実中男子チームが千葉県大会で五連覇の偉業を達成

昭和52年全国中学校大会での入場行進

昭和54年全国中学校大会 青森佃中戦（左側近藤弘先生）

昭和59年頃から松戸で育った選手が全国大会で活躍しはじめてきた。和洋女子大付属国府台中学校に通う大場範子さんが昭和60年に全国中学校大会のシングルスで優勝した。その後順調に実力をつけ、全日本選手権大会で平成３～４年、２年続けて３位となった。後の国際大会でも活躍している。

全中を制覇した大場範子さん
〈日本卓球株式会社
ニッタクニュース
昭和60年11月号提供〉

〈ベースボールマガジン社
卓球マガジン
日本卓球協会機関紙
昭和60年11月号提供〉

平成３年全日本選手権３位　大場選手（右側）
優勝は佐藤利香選手

また、五十嵐一郎選手（サンウェル工業）は昭和53年度全日本社会人卓球選手権大会サーティの部で優勝し、昭和63年度にはフォーティの部で準優勝した。

他方、市内のクラブチームでも活躍するチームが現れ、昭和63年と平成２年に全国クラブチーム選手権（３部）でコスモスポーツクラブ男子が全国制覇した。平成７年には卓修会が全国クラブチーム選手権（１部）で７位入賞、また松戸市役所卓球部は平成13年に行われた全日本実業団選手権大会（軟式の部）に於いて準優勝を果たし、平成25年度も千葉県代表として連続26回目の出場をしている。

平成13年全日本実業団選手権（軟式の部）
準優勝の松戸市役所チーム（前列左は監督の吉岡弘理事長）

全日本社会人選手権を制覇した
五十嵐一郎選手（現協会副会長）

平成元年　ラージボール卓球同好会発足と活動の普及

ラージボール普及のため、メーカーと協会の合同指導による講習会が松戸市内各所で開かれるようになった。その講習会参加者の中から全国レベルの大会に参加する者も出始めた。

平成元年の６月、協会の副会長であった高杉宏希氏の指導のもとに、土屋三郎氏などを中心とした10名ほどで「ラージ卓球愛好会」を発足させた。

平成５年にメンバーが30人を超えたのを機に「松戸市社会教育関係団体」にラージボール卓球部門を登録している。この頃から日本各地でも普及が進み、数多くの大会が開催されるようになった。松戸市でも年数回ラージボールオープン大会が開かれ、平成10年代には全国ラージボールチャンピオンの西本公英プロをはじめ全国からの参加者も加わり大盛況の大会が開催されるようになった。

協会主催のラージボール大会で熱戦を展開する村上正文・小川早苗組（現協会会長・副会長）、村上選手は平成21年度全国ラージボール大会の混合ダブルス（150歳代）で優勝、男子ダブルスでも準優勝に輝いている

平成６年　新たな協会組織での運営の強化

平成６年からは、松戸市卓球協会を29年の長きにわたり率いて来られた中村修会長に代わり、村上正文氏が第５代会長に就任した。村上氏は日本大学卓球部で４度にわたり世界制覇を果たした荻村伊智朗氏、田中利明氏と活動を共にしている。その後、卓球メーカー・ヤサカに勤務し、永年に亘り卓球界に関わり、卓球の技術にも精通している。新村上会長を中心に、副会長はラージボールの普及とこれまでの協会の運営に尽力された高杉宏希氏が引続き要職を努め、理事長に松戸市役所の吉岡弘氏が就任し、新たな協会組織での運営が開始された。

当協会では学校やクラブチームと密な連携をとるように努め、松戸市体育協会と連携しての卓球教室、協会主催の講習会を企画開催している。また､春･秋季団体リーグ戦には小中学生も参加できるように、大会の運営に工夫を重ね、若年層の強化に努めてきた。

平成４年　松戸一中で中国選手による講習会が開催された
協会総務部長（当時）の小川憲一氏（故人・右側）は松戸市の卓球普及と青少年の育成にも尽力された

平成15年　松戸シニア親善リーグの結成

平成14年、当協会副会長の五十嵐一郎氏より理事会の中で団塊の世代の高齢化対応を一つの目的とするシニア親善リーグ結成に係わる新規事業の提案がなされた。常任理事の久保田士郎氏、理事の持田洋一・山本文雄・吉岡進氏ら９名の運営役員により具体化のための検討がなされ、全国でも類を見ない会員制の中高年向け男女混成オープン大会を企画する運びとなった。平成15年６月の第１回大会を開催する準備が進められ､協会傘下の大会で名称を「松戸シニア親善リーグ」とした。後に呼称を「Ｓリーグ」とし、独立採算で９年間運営にあたった。

当初、柿ノ木台公園体育館で開催した本大会は50人足らずの会員であった。しかし関係者諸氏の努力や自分の戦績によってランクが昇降する大会の方式に刺激され次第に会員が増えていった。平成25年の10周年記念大会を契機に「Ｓリーグ」を正式大会として協会行事に取り入れる事を決定した。近隣の強豪も参加する為、松戸の選手にとっても非常に勉強になるのも行事に取り入れた理由の一つであった。

平成18年　松戸市レディース卓球連盟としての新スタート

家庭婦人卓球連盟は専業主婦の会員が大半を占め、これまで男子顔負けの活動を行って来た。また、協会傘下の長寿クラブは40年－50年の歴史を有している。当然のことながら、初期から参加している方々は高齢となり、自らの活動にも限界が見え始めた。そこで平成18年度に「松戸市レディース卓球連盟」と名称を改め、新会員を補充できるよう、参加資格をこれまでの「主婦」であり、「40歳以上」の枠を取り払い、松戸市に在住在勤の女性ならば誰でも参加できるようにした。現在、年間５回の大会を企画運営し、会員の友好の輪を広げている。

平成20年代　次世代を担う若年層の活躍

近年、中学生以下の子供達を一貫した指導で全国大会レベルの人材を多数輩出しているクラブチーム「TOMAX（代表者石川貴陽氏）」の活躍は喜ばしいかぎりである。TOMAX 所属で松戸六中の木村駿太君、吉田大輔君、葉波啓君らは千葉県大会の団体・個人での優勝で頭角を現し、全日本ホープス東日本ブロック大会で平成21年準優勝、平成22年に優勝している。TOMAX メンバーを主体とする松戸六中チームは平成23年度の千葉県中学校総合体育大会で優勝し、全国中学校総合体育大会に出場、団体でベスト16入りした。特に山田大輔君は卓球留学で青森山田中に転校し、平成24、25年に全国中学総合体育大会でベスト８に入賞し、葉波啓君（松戸六中）も本年度ベスト16入りしている。近い将来の全国レベルでの活躍が期待される。

全国ホープス東日本ブロック大会で優勝
〈前列左より吉田大輔・松井充輝・横井啓真・葉波啓君、後列中央は指導者の石川貴陽 TOMAX 代表〉

平成23年全国中学総体出場の松戸六中チーム
（右側は顧問の四家正明先生）

更に TOMAX では、知的障がい者の卓球を通じての能力向上のための指導もなされている。竹守彪選手（左写真）は単複で優勝した。平成23年度４位、翌年準優勝し、本年度 FID の全日本選手権で頂点に立った。平成25年に韓国で開催された世界卓球連盟パラ卓球委員会主催の国際大会 PTT オープンで全日本チームの団体優勝に貢献し、シングルスでも３位に入賞した。

平成25年全国中学総体の戦績
〈株式会社タマス 2013卓球レポート10月号提供〉

FID ジャパンチャンピオンの竹守彪選手（左側）

PTT オープン韓国大会優勝の日本選手団
（中央が竹守選手）

中学生では女子の千葉県大会での活躍も特記される。新松戸南中が平成24年の新人体育大会の団体で、松戸四中が平成25年の総合体育大会の団体で優勝している。

高校関連では専修大学松戸高校の八木智也選手が平成14年の全国選抜高校選手権のシングルスで優勝するという快挙を成し遂げた。

〈株式会社タマス 2003卓球レポート５月号提供〉

平成25年度　協会創立50周年を迎えて

昭和39年に松戸市卓球協会が再出発してから、平成25年度で50周年を迎えた。昭和25年に創設された協会の初期の活動を含めると通算60年の記念すべき年となった。

スポーツも社会文化の一つである以上、その背景となる社会的環境変化の影響を受けるのは避けられない。バブル崩壊やリーマンショックなどによる経済破綻に加えて、少子高齢化の波は様々な形で松戸市卓球協会の運営に影響を与えてきた。

特に高齢化が進む団塊世代を含む中高年層の意欲高揚と技術向上への対応は当協会の重要課題となり、いくつかの施策で対応して来た。具体的には硬式・ラージボールの各大会で年齢別種目の拡充等、工夫を重ねている。また、新たな試みとして「Ｓリーグ」を協会行事に取り入れ、他の範となるよう更なる発展を目指している。これら施策の波及効果で全日本選手権マスターズの部等、全国大会の出場者数が増えていることは喜ばしいことである。

一方、松戸市レディース卓球連盟は会員数の減少に対応し、松戸市在住在勤の女性ならば誰でも加入できるようにしたが、昨今では仕事に従事する女性が多くなかなか会員数が増えないのが現状である。またラージボールでは、大会開催が、他組織とバッティングすることが多くなり、大会参加者数が少なくなって来ている。これらの対応は今後の課題である。

卓球をこよなく愛する会員の皆様に支えられ、創立50周年を迎えられた。しかし我々の組織には「円熟」は不要である。更なる発展を目指し、常に好奇心と挑戦の気概をもって会員の皆様と共に60周年に向かって歩んでまいりたい。

松戸市卓球協会組織（平成25年度）と歴代役員

名誉会長　中村　修

評議委員会

会長　村上　正文
副会長　五十嵐一郎
同上　高田　明
同上　小川　早苗

顧問　田河　公生
同上　垣内　信子

監事　関　豊

常任理事会・理事会

理事長　吉岡　弘　（市役所）
副理事長　津久井隆信　（会長推薦）

（＊は常任理事）

総務部　（４名）

部長＊	津久井隆信	（会長推薦）
副部長＊	大川　典昭	（同上）
理事＊	田中　美香	（同上）
理事	渡辺　敦子	（同上）

松戸市レディース卓球連盟

普及部

事業部　（33名）

部長＊	村上　雅治	（会長推薦）	理事	黒石　尚子	（会長推薦）	理事	小俣　隆一	（松ヶ丘クラブ）
副部長＊	山本　文雄	（小金原）	同上	永沼　栄治	（同上）	同上	山部　裕司	（青松会）
（ラージ担当）			同上	瀬谷　真一	（同上）	同上	新井　仗子	（水金会）
副部長＊	吉岡　進	（会長推薦）	同上	太田　和弘	（同上）	同上	平岡　通一	（グリーンクラブ）
（硬式担当）			同上	畠山　大助	（同上）	同上	井上　好昌	（南部クラブ）
副部長＊	久保田士郎	（コスモスポーツ）	同上	坂本　大輔	（同上）	同上	石川　貴陽	（ＴＯＭＡＸ）
（硬式担当）			同上	根本　健志	（北部クラブ）	同上	本間　迪子	（八ヶ崎クラブ）
理事	岩田由美子	（会長推薦）	同上	野口　直人	（馬橋フリーダム）	同上	持田　洋一	（会長推薦）
同上	横田　房子	（同上）	同上	井上　秀子	（アフターズ）	同上	大場　淑子	（同上）
同上	関口　展子	（同上）	同上	西尾　利子	（火木会）	同上	西岡　正義	（同上）
同上	小宮山栄子	（同上）	同上	平林美恵子	（弥生クラブ）	同上	清水　潤也	（同上）
同上	筧　セツ子	（同上）	同上	三浦　静子	（常盤平クラブ）	同上	佐藤　正幸	（同上）

ラージボール委員会

Ｓリーグ委員会

歴代役員一覧

年　度	会　長	副　会　長			理事長
昭和25年	竹内　敬一				白井　源治
26－34年	橋本　林次				片山　陽理
39年	新納　健司	片山　陽理			長谷川　稔
40年	中村　修	片山　陽理			高杉　宏希
49年	中村　修	名島　馨辰			高杉　宏希
55年	中村　修	酒井　稔			高杉　宏希
59年	中村　修	酒井　稔			五十嵐一郎
63年	中村　修	酒井　稔	高杉　宏希		五十嵐一郎
平成２年	中村　修	高杉　宏希	村上　正文		五十嵐一郎
４年	中村　修	高杉　宏希			五十嵐一郎
６年	村上　正文	高杉　宏希			吉岡　弘
12年	村上　正文	高杉　宏希	五十嵐一郎		吉岡　弘
18年	村上　正文	五十嵐一郎	高田　明		吉岡　弘
25年－現在	村上　正文	五十嵐一郎	高田　明	小川　早苗	吉岡　弘

松戸市レディース卓球連盟組織

会長　村上　正文（協会会長）

副会長　小宮山栄子（常盤平）

顧問　吉岡　弘（協会理事長）

県レディース幹事　岩田由美子（ラベンダー）

理事長　黒石　尚子（常盤平）

書記	姫井美智子	（小金原）	会計	小林セツ子	（フリージア）			
同上	松下　朝子	（同上）	同上	小谷裕美子	（同上）			
理事	柳沢よし子	（水金会）	理事	武井　真理	（北部クラブ）	理事	小松　久恵	（東パーク）
同上	組田　牧子	（アフターズ）	同上	斎野　礼子	（かるみあ）	同上	小倉　広子	（ポトス）
同上	山蔭千恵子	（根木内）	同上	梅本みな子	（ピンポンパン）	同上	若狭　幸子	（すみれ）
同上	菊池奈津江	（八ヶ崎クラブ）	同上	野本　知子	（卓美会）	同上	磯和万由美	（南部クラブ）
同上	田村　洋子	（コスモスポーツ）	同上	中村美代子	（松ヶ丘）	同上	石渡　利子	（アイリス）
同上	佐々木清子	（矢切クラブ）	同上	大場　淑子	（上本郷）	同上	高橋　静江	（個人）
同上	山崎　叙子	（さくら）	同上	諸橋幸枝子	（青松会）	同上	若林シゲ子	（同上）
同上	鈴木ハツエ	（弥生クラブ）	同上	梁田　文子	（フリージア）	同上	小牧ケイ子	（同上）
同上	飯塚しげ子	（五香クラブ）	同上	楢本富美子	（常盤平）	同上	酒井　節子	（同上）
同上	田中　美香	（ラベンダー）	同上	佐藤　妙子	（火木会）	同上	蒔田　孝子	（同上）
同上	郡山美枝子	（グリーンクラブ）	同上	桜井えい子	（こがね）			

平成25年度50周年記念松戸レディース団体戦参加者

ラージボール委員会

大会責任者	高田　　明	
大会委員長	山本　文雄	
大会審判長	久保田士郎	
競技責任者	永沼　栄治	
競技役員	五十嵐一郎	手塚　紘子
	小川　早苗	高橋　利明
	土屋　三郎	岩田　陽一
	筧　セイ子	

親善シニアリーグ「Ｓリーグ」実行委員会

実行委員長	村上　雅治	
副委員長	久保田士郎	
会計	清水　潤也	
実行委員	藤井　　敦	佐藤　茂伸
	鈴木　健一	筧　セイ子
	根津　幸子	望月　郁夫
	田中　美香	
（事務）	西岡　正義	

創立50周年表彰者一覧

表　彰　者　一　覧

表　彰	氏　名	表　彰　理　由
特別功労者	中村　修	多年にわたり協会発展に寄与された方
	故 高杉　宏希	多年にわたり協会発展に寄与された方
	故 片山　陽理	多年にわたり協会発展に寄与された方
特別賞	松田　キヌ	松戸に於ける女性卓球愛好者の草分け的な存在の方
優秀選手 過去10年以内に全国大会ベスト８に入賞した方	石渡　利子	平成17年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部） 女子ハイシックスティ８位
		平成24年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部） 女子ローセブンティ７位
	葉波　啓	平成24年度全日本卓球選手権大会（カデットの部） シングルス６位
	竹守　彪	平成25年度ＦＩＤジャパン・チャンピオンシップ大会 シングルス・ダブルス　優勝
		平成25年度韓国ＰＴＴオープン卓球大会 団体優勝・シングルス３位
優秀団体	ＴＯＭＡＸ	全国レベルの選手の育成をしているチーム
功労団体	ふれあい２２ ボランティアチーム	14年の永きにわたり障がい者卓球の指導に当たった
功労団体	**クラブ結成20年以上のチームで40周年の時の表彰されていない団体** ラージ卓球愛好会・五香クラブ・卓峰会	

各団体よりの推薦者（１名）		推　薦　理　由
矢切クラブ	故 片山陽理	永年にわたってクラブ運営に尽くして下さいました。
アフターズ	横田　房子	アフターズは横田さんの指導のもとに結成されました。 以来、コーチとしてチームの指導に当たりチームの発展に尽力して下さいました。
馬橋フリーダム	野口　直人	35年以上にわたり、クラブ運営に関し、常に最前の方向を考えながら日々努力し今日まで頑張ってこられました。
小金原卓球クラブ	水本　進	永年にわたりチームの発展等に尽力してこられた。
根木内卓球クラブ	篠田みつ子	成績優秀者・チームの発展に尽力された。
こがね卓球クラブ	木村　良江	こがね卓球クラブ創設時よりコーチとして指導された。
弥生クラブ	五十嵐せつ子	チーム責任者の補佐役として永年チームの発展等に尽力してきた。
日曜クラブ	清水　義則	永年チームの活動に貢献し、後輩の指導に勤しみ、チームの柱として、日曜クラブの活動をしてきた。
ひので卓球クラブ	箕輪　信治	ひので卓球クラブの創設者
すみれクラブ	大塩とみえ	現在81歳、クラブ発足当時からリーダーとして積極的に活動して頂いている。
松馬会	大橋　和久	松馬会（馬橋高校ＯＢチーム）を発足して25年間、何度か解散の危機もありましたが1期生から10期生くらいまでをまとめあげ現在に至る。
グリーンクラブ	郡山美枝子	クラブの中で入会歴が一番長く、クラブ初期当時の会長の補佐役として長く副会長を務め会の発展に貢献した。
松ヶ丘卓球クラブ	野原アイ子	チーム責任者の補佐役として永年貢献した。
青松会	野口　義隆	松戸市卓球協会登録以来３８年間チームのまとめ役として、又、卓球を通じ地域社会への貢献・青少年育成に尽力してきた。
水金会	南波　妙子	水金会が発足した当時から現在まで卓球を愛され地道に練習に参加されています。その健康でお元気な姿は水金会の誇りであり皆の目標となっています。
北部クラブ	狩野　淳子	創設以来チームの発展に貢献された。
南部クラブ	山川　正勝	創部者の一人として、40年に亘り部の運営に尽力された。
常盤平クラブ	楢本冨美子	チームの責任者として永年チームの発展等に尽力された。

協会運営に尽力された方々

片山　陽理　氏

松戸市卓球協会創設のための準備を発起人メンバーの一員として進められ、昭和25年に協会を設立、翌年から昭和34年までの８年間理事長を務められた。

初期の卓球協会の運営は苦難の連続で中断を余儀なくされたが、協会再建に対する熱意は強いものがあり、昭和39年からの協会再開に向け高杉宏希・中村修・新納健司・長谷川稔氏らと共に尽力された。

昭和48年までの10期、副会長を務められ、中村修第４代会長、高杉宏希理事長との強力な布陣で協会の発展に大きく貢献された。その後、平成24年３月まで監事役を務められ、半世紀以上に亘り協会の運営に関与された。

他方、協会傘下のクラブチームの育成も手掛けられ、矢切クラブは松戸市春・秋季団体リーグ戦女子１部で平成14－15年度に３連続優勝を達成している。レディースのクラブチームの枠を越えた技術交流の場として「Ｊ－メート」組織も結成させ、南部クラブの代表も長期に亘り務められた。

故人は性格温厚にして、山を愛し、カントリーソングを好んだ。これは、アマチュア楽団を結成する程であった。会話はジョークを好んだが饒舌過ぎることなく、節度をしっかり心得た方だった。戦中に少年期を過ごした者の特色である連帯感、相互扶助の精神を秘めていたのだろう。永きに及んで、当協会の特に印刷物全般に格別の便宜や、支援を頂き皆々感謝していた。平成24年の暮れに奥様を亡くされて、３ケ月以内に他界された。奥様への深い愛情を感じた。そこにも彼の人柄が見えた思いがある。でも少し早かった。

片山氏（右側）は山歩きを通じ協会関係者との友好も深められた

高杉　宏希　氏

松戸市役所の教育委員会に勤務していた高杉宏希氏は片山陽理氏、中村修氏らの松戸市卓球協会創設の相談に乗る傍ら、市役所卓球部設立の準備も進められた。

昭和39年の協会再開の翌年から昭和58年まで永年に亘り理事長の要職を務められ、協会の運営を軌道に乗せることに尽力された。昭和63年に副会長に就任された。当時、松戸市役所のスポーツ課長であった高杉氏は高齢者スポーツの一つであるラージボール卓球の普及の為、「ラージ卓球愛好会」を平成元年に発足させ、運営と技術の指導に当たられた。同時期に松戸市卓球協会のラージボール卓球部門の発展にも注力され、松戸市役所を退職する平成18年度まで副会長を務められた。その後は顧問として松戸市卓球協会の発展と卓球普及のために意を尽くして下さった。残念ながら平成24年３月に他界、早い別れとなりましたが、献身的な努力で当協会を今日まで導かれましたその手腕と功績は言葉を表すことは出来ません。感謝しております。

高杉氏（右側）は松戸市役所卓球部の監督としての手腕も発揮され選手としても活躍された

所属団体紹介

アフターズ

設　　立	平成９年11月
代 表 者	横田　房子
所属人数	男性10名　女性13名
練 習 日	火・水・土曜日 （19：00－21：00）
練習場所	小金中学校格技場

〈チーム紹介〉

アフターズ設立当初はお母さんの運動不足解消が目標でした。

３－４年過ぎた頃「もっと上手になりたい」「試合にも出たい」と目標が変わってきて、メンバー構成も大幅に入れ変わり、老若男女の層の厚いチームになりました。多くの人の指導もあって、練習もそれぞれが目標を持って取り組むようになり、様々な試合に出られるようになりました。現在は女子Ａチームが、市民大会１部で活躍中です。

火木会卓球クラブ

設　　立	昭和49年10月
代 表 者	佐藤　妙子
所属人数	女性51名　指導者１名
練 習 日	火曜日・木曜日
練習場所	運動公園体育館卓球室

〈チーム紹介〉

卓球愛好者の主婦を会員として組織するとの趣旨のもと、昭和49年10月に創設された火木会も今年で40周年を迎えることになりました。50代から70代まで51名の大所帯です。よく笑い、卓球大好きで仲間を大切にする雰囲気があるからこそ長く続いてきたのではないかと思います。最近の試合結果はボチボチですが、参加することに意義あり！という目標を持って火曜日と木曜日は運動公園にせっせと通っています。

かるみあ

設　　立	平成16年４月
代 表 者	斎野　礼子
所属人数	女性２名
練 習 日	火曜日・土曜日
練習場所	柿ノ木台公園体育館、 火曜日はＪメートに参加

〈チーム紹介〉

現在は人数がちょっと減ってしまいましたが、健康の為に続けております。試合にも出来るだけ参加しております。

グリーンクラブ

設　　立	昭和58年４月１日
代 表 者	郡山　美枝子
所属人数	男性11名　女性24名
練 習 日	火曜日・木曜日
練習場所	運動公園体育館卓球室

〈チーム紹介〉

当クラブの特長は、①専属コーチに恵まれその指導を受けられる事　②卓球マシンを導入し基本技術修得に力を注いでいる事です。クラブは松戸市の家庭婦人「卓球スポーツ教室」の卒業生により当初17名でスタートし、爽やかに元気に頑張ろうとグリーンクラブと命名、今年30周年を迎えました。五十嵐コーチの良き指導を仰ぎながら、常に練習も楽しく遂行され会員相互の親睦を大切にしつつ、卓球の普及にも努め、会員一同更なる向上目指し頑張っています。

こがね卓球クラブ

設　　立	昭和53年
代 表 者	桜井　えい子
所属人数	女性13名
練 習 日	火曜日 （11：00－13：00）
練習場所	小金原体育館

〈チーム紹介〉

部のモットーは、①健康を維持し体力の向上に努める。②日々努力レベルアップを計る。③少人数、家庭的で仲良く楽しく。小金小学校PTAのお母さん達が集まって作った部です。平成３年、松戸市家庭婦人（現在松戸レディース）に登録、船橋、我孫子、鎌ヶ谷他等での試合数も多く、近隣の試合にもでるようになりました。数年前から千葉県卓球連盟に登録し活躍する部員もいて全体的に活気あり練習にも意欲的な部です。練習内容は、すばらしいコーチ２人に恵まれ基礎練習後に試合形式でのW戦、年１～２回部内の試合（W戦）を行い、親睦を深めています。

小金原卓球クラブ

設　　立	昭和45年
代 表 者	山本　文雄
所属人数	男性11名　女性10名
練 習 日	日曜日・祝祭日 （13：00－17：00）
練習場所	栗ケ沢小学校又は 小金原体育館

〈チーム紹介〉

チームのモットー；卓球愛好者の親睦・技術向上

五香クラブ

設　　立	平成４年４月１日
代 表 者	谷所　英雄
所属人数	男性９名　女性16名
練 習 日	土曜日・日曜日
練習場所	松飛台第二小学校体育館

〈チーム紹介〉

健康維持、技術向上を目的とし、笑顔と元気をもらえるシニアチームです。

（家庭婦人の試合、他の試合に参加しております。）

コスモスポーツクラブ

設　　立	昭和59年１月
代 表 者	五十嵐　一郎
所属人数	男性13名　女性10名
練 習 日	火曜日・木曜日
練習場所	小金原体育館

〈チーム紹介〉

我がチームは子供から一般社会人まで巾の広いクラブです。特に小学生･中学生･マスターズの方達は千葉県代表として全国大会に出場し、全日本クラブチーム選手権では２度優勝し全国制覇しており、全日本マスターズでも優勝者を輩出し活躍してきております。この様に子供から大人まで楽しく卓球をやりながら日本卓球協会公認コーチの資格を持つコーチが指導に当たり、自分に合った目標をもって日々練習に励んでいるクラブです。

新松戸ウイングス

設　　立	平成20年９月14日
代 表 者	渡辺　貴輝
所属人数	男性５名
練 習 日	特定日なし
練習場所	特定せず

〈チーム紹介〉

私達、新松戸ウイングスは中学校からの同級生を中心に構成された和気合々としたチームです。それぞれの高校での部活動引退を機に結成され、主に松戸市内の大会に出場して、卓球を通じて信頼関係を築き、良い思い出作りのきっかけの場とすることを目的としたチームです。今後の目標は松戸市民大会１部で試合をすること、そして実力を問わず、男女一緒に頑張れる仲間を増やし、何十年も続けていくチームにしていきたいです。松戸市民の皆様、新松戸ウイングスを是非ともよろしくお願いします。

水金会

設　　立	昭和49年
代 表 者	柳沢　よし子
所属人数	女性24名
練 習 日	水曜日（９:00－11:00） コーチ　石川貴陽氏 金曜日（11:00－13:00） ビジター女性の方を受け入れています。
練習場所	運動公園体育館卓球室

〈チーム紹介〉

健康であるための生涯スポーツとして、卓球技術の向上と会員相互の親睦を図ることを目的として活動しています。

すみれ

設　　立	平成13年４月１日
代 表 者	若狭　幸子
所属人数	女性10名
練 習 日	月曜日・水曜日
練習場所	常盤平体育館

〈チーム紹介〉

この度は50周年記念おめでとうございます。
若輩者ながら私達すみれも、お陰様をもちまして今年で12年目を迎えることが出来、大変感謝いたしております。お互いに励ましあい、慰めあい、笑いあって元気にやっております。最近、若いお仲間が遠く九州へ引っ越されることになり大変寂しい思いをいたしましたが、また元気を取り戻し頑張ってやっていきたいと話しあっています。ところで卓球ってどうしてこんなに楽しいんでしょう。卓球を発明した方に感謝です。ご指導してくださる先生方に相手をしてくれる仲間達に、卓球にたずさわる諸々の方々に感謝します。　元気・優しさ・やる気・ついでに美しさを加えさせて頂いて、これからも続けて行きたいと思います。　すみれ一同

青松会

設　　立	昭和50年４月 （松戸市卓球協会へ登録）
責 任 者	藤井　　敦
名誉会長	村上　正文
顧　　問	野口　義隆
所属人数	男性23名（内２名は準会員） 女性９名（内３名は準会員）
練 習 日	日曜日
練習場所	小金原体育館

〈チーム紹介〉

松戸市卓球協会に登録し38年目を迎える、伝統のあるチームです。
卓球を通じ青少年の育成を目的に設立し、現在は30名を超える大所帯のチームとなりました。選手層も幅広く、上級者から初心者迄、卓球を愛するメンバーで構成されております。卓球のクラブチームですので、上達し試合に勝つ事も確かに重要ですが、アットホームな雰囲気の中、「卓球を通じた人間形成」少し大げさかも知れませんが、そんな事が出来るチームと思っております。

卓美会（たくびかい）

設　　立	昭和54年４月１日
代 表 者	野木　知子
所属人数	女性16名
練 習 日	火曜日・金曜日
練習場所	青少年会館

〈チーム紹介〉

私達は技術の向上と健康の維持、相互の親睦を深めるためのあつまりです。卓球愛好の皆さんお待ちしています。

卓峰会

設　　立	平成５年４月１日
代 表 者	小鹿原　進
所属人数	男性11名　女性１名
練 習 日	特定日なし
練習場所	特定せず

〈チーム紹介〉

基本的には松戸市内の中学、高校の部活を共に頑張った仲間の集まりです。会の目的は卓球を通して仲間を大切にし、共に卓球に打ち込んだことを人生の思い出の１ページにすることです。会の目標は市民大会の１部で優勝することですが、学業とアルバイト等々の合間の少ない時間を割いて練習していること、またそれぞれ違う道を歩んでいるためなかなか集合して十分な練習ができないことが悩みの一つです。当会の歴史としては、約20年前小峰敏資氏が作ったクラブであり、その後中央大学卓球部ＯＢの同好会として市民大会のみに参加してきた経緯もあります。その後年齢的なものによりそれも卒業しましたが、その時ちょっとしたきっかけにより卓峰会として中学校の部活の応援をしてみようということになり、それを機会に現在の活動に移行したものです。戦績としては現在、Ａ team が１部昇格、Ｂ team が４部にて頑張っています。

チームMMC

設　　立	平成23年４月１日
代 表 者	千葉　広樹
所属人数	男性５名
練 習 日	日曜日を除く毎日
練習場所	松戸馬橋高校

〈チーム紹介〉

チームＭＭＣは松戸馬橋高校卓球部の略称であり、高校卒業後も松戸市民大会には継続して参加出来るようチームＭＭＣ名にて登録したものです。平成25年10月に３部に昇格し、さらに上位進出が出来るよう頑張っています。

東友クラブ

設　　立	平成９年９月
代 表 者	東田　高夫
所属人数	男性10名
練 習 日	特定日なし
練習場所	主に運動公園体育館卓球室

〈チーム紹介〉

クラブ創設のきっかけは 六実中ＯＢ数人を中心に松戸市にクラブチームをという事で始まり、当初は女性もリーグ１部で２位という成績も残しています。現在は男性ばかりで１部と２部をいったりきたりという成績です。ちなみに、チーム名は会社名㈱東ハウジングセンターの東をとってできたなまえです。

常盤平クラブ

設　　立	昭和42年10月
代 表 者	楢本　富美子
所属人数	女性29名
練 習 日	火曜日・金曜日
練習場所	常盤平体育館

〈チーム紹介〉

常盤平クラブは楢本代表を中心とする女性だけのクラブです。クラブの歴史は古く、松戸市内でも１、２位を競います。クラブの方針は、「健康と親睦をモットーとして、仲良く、楽しく練習に励みます。」です。６月の親善大会も含め、年２回の交流試合を行っています。

平成24年に創立45周年を迎えることが出来ました。皆が50周年を迎えることが出来るよう、一同頑張っております。

TOMAX（トマックス）

設　　立	平成５年
代 表 者	石川　貴陽
所属人数	男性46名　女性16名
練 習 日	火曜日－金曜日
練習場所	火曜・金曜日 運動公園体育館（競技場）又は和名ヶ谷スポーツセンター 水曜・木曜・土曜日 TOMAX 東松戸卓球場

〈チーム紹介〉

TOMAX（トマックス）は初心者から全国大会での活躍を目指す選手まで幅広い人たちが活動しているクラブです。全国大会優勝他、国内大会での数々のタイトルを持つコーチ、スウェーデンプロリーグでプレーしたコーチなど数名が指導にあたっております。

卓球選手として技術・体力・精神力を鍛え、大会において好成績を残せるように努力しています。ジュニア世代の選手は現在の成績だけでなく、将来このクラブを巣立って行ってからも成長し続けられる土台作りも行っています。また、卓球の成績だけでなく人間としての成長にも力を入れています。

南部クラブ

設　　立	昭和48年 （40周年を迎えます。）
代 表 者	中野　　均
所属人数	男性28名　女性15名
練 習 日	土曜日（11：00－14：00） 日祭日（９：00－11：30）
練習場所	南部小学校体育館

〈チーム紹介〉

南部卓球クラブに所属する会員の平均年齢は結構高くなっておりますが、練習風景を見ると、ほとんどの方が全然、年齢を感じさせないぐらいに元気いっぱい頑張っております。日曜日の練習に参加される方の人数も多く、16人から20人ぐらいで卓球台８台全部を使用して練習をしております。練習は、開始から約１時間は上級者が下級者の練習相手を行い、初心者の方でも気軽に参加できるようになっています。ご興味のある方は、是非、練習を見学においでください。

根木内卓球クラブ

設　　立	昭和48年４月
代 表 者	塩山　弘美
所属人数	女性20名
練 習 日	火曜日（13：00－15：00） 部外者受け入れ 金曜日（11：00－13：00） 部員のみ
練習場所	小金原体育館

〈チーム紹介〉

当クラブは卓球競技を通じて健康の増進、部員相互の親睦、市民スポーツの振興に寄与する。各種卓球競技会への参加を目的とする。

東パーク卓球クラブ

設　　立	昭和57年８月27日
代 表 者	小松　久恵
所属人数	女性14名
練 習 日	金曜日
練習場所	青少年会館または小金原体育館

〈チーム紹介〉

東パーク卓球クラブは、卓球をこよなく愛する人達の集まりです。ストレス解消や健康の為には、卓球は最適です。負けが込むと、ストレスの源になるときもありますが・・・・古川直子コーチの御指導のもと、技術の習得にも励んでいます。最初は東パークのマンションに住んでいる人達だけのクラブでしたが31年の間には、色々な地域の人達が入部しました。創部当時からの人も多く、皆、とても頑張っています。

ひので卓球クラブ

設　　立	昭和55年１月
代 表 者	田中　　満
所属人数	男性15名　女性10名
練 習 日	日曜日・祝祭日
練習場所	牧野原小学校体育館 第１、第３、第５日曜日及び祭日（12:00−15:00） 常盤平中学校格技場 第２、第４日曜日（13：00−16：00）

〈チーム紹介〉

昭和55年、同好の有志を募り「技術の向上」「健康増進」「会員相互間の親睦」をスローガンとして結成し、当初はひので幼稚園のご好意により同幼稚園体育館を練習場として、週１回の練習を開始した。平成15年より練習場を現在の練習場所である上記の両校施設を隔週使用とする許可を得ることができ、創設以来今年で34年となる。最近の戦績としては男子（秋季団体戦４部）、女子（秋季団体戦３部）と健闘。

ピンポンパンクラブ

設　　立	平成７年２月１日
代 表 者	梅本　みな子
所属人数	女性14名
練 習 日	木曜日
練習場所	常盤平体育館

〈チーム紹介〉

風口コーチの指導のもと、『明るく、楽しく、若々しく』を、モットーに練習しています。部内試合では卓球の楽しさや、ルールの知識を得。その後の暑気払い、忘年会の会食では会員同志の親睦を深め、向上心をかきたてられます。

創立当初からの会員、再入部会員、若手会員、新入部会員等の仲間と健康とボケ防止の為、仲良く長～く続けたいと思います。

フリージア

設　　立	平成21年
代 表 者	簗田　文子
所属人数	女性４名
練 習 日	火曜日・木曜日
練習場所	柿ノ木台公園体育館

〈チーム紹介〉

2009年にフリージアを結成、もうすぐ５周年。

個性豊かな？少人数で楽しく頑張っています。

ベアーズ

設　　立	平成18年
代 表 者	阿部　誠一
所属人数	男性10名　女性１名
練 習 日	特定日なし
練習場所	特定せず

〈チーム紹介〉

こんにちはベアーズです。私たちは現在11名のメンバーで活動しています。ベアーズは平成18年に監督兼選手の職場の同僚、中学時代の同級生、高校時代の怖い先輩の計５名からスタートしました。その後、仕事仲間等が集まり現在に至ります。リーグ戦には２チームで参戦しています。試合後の反省会では、試合以上に楽しく、大人しく盛り上がりながら交流を深めています。今後とも宜しくお願い致します。

北部クラブ

設　　立	昭和48年４月
代 表 者	根本　健志
所属人数	男性12名　女性15名
練 習 日	日曜日・祝祭日
練習場所	北部小学校体育館

〈チーム紹介〉

趣旨目的；会員相互の親睦、健康増進と卓球技術の向上を目指す。

松ケ丘卓球クラブ

設　　立	昭和55年４月１日
代 表 者	関　　豊
所属人数	男性18名　女性14名
練 習 日	日曜日・祝祭日
練習場所	松ヶ丘小学校体育館

〈チーム紹介〉

当クラブは、松ヶ丘小学校 PTA 卓球部を母体として昭和55年に故高沢富美子さん、千秋和子さん（今でも現役！）が設立。昭和60年には名選手五十嵐一郎氏をコーチに招聘。松戸市卓球協会の主管する春と秋の団体戦には必ず出場しており、先日（９月22日）の団体戦では男子Ａチーム（澤田光弥、北代弘司、篠崎勝、藤井寿）が五部で全勝優勝、四部に昇格する予定です。

馬橋フリーダム

設　　立	昭和53年２月１日
代 表 者	桧山　均
所属人数	男性22名　女性８名
練 習 日	日曜日・祝祭日 （15：00－17：00）
練習場所	馬橋北小学校体育館

〈チーム紹介〉

創立35年ということで、松戸市内でも伝統のある卓球クラブのひとつです。

メンバーは40、50歳代が中心ですが、本年度は若手部員の活躍により、松戸市秋季リーグ戦の一部に復帰致しました。女子は、同リーグの二, 三部を出たり入ったりしています。

毎年、当クラブ主催の男女混合ダブルスによる「フリーダム大会（本年第17回）」を実施しております。今後とも、皆様のご協力を頂き活動してゆけることを目指しております。

八ヶ崎卓球クラブ

設　　立	昭和56年４月
代 表 者	菊池　奈津江
所属人数	男性２名　女性14名
練 習 日	火曜日・木曜日 （11：00－13：00）
練習場所	小金原体育館

〈チーム紹介〉

目的；①健康を維持し、体力の向上に努める。②技術を磨き、一層の上達を図る。③楽しく練習し、親睦を深める。

50～70才代のメンバーですが、全員若々しいです!!　それは気持ちが若いこと、元気であること、そして何より卓球が大好きで目標があるからです。その目標は松戸市で一番、千葉県で一番と言いたいのですが・・・・　出来るだけ多くの大会に参加して経験を重ね、そして学び、一層の上達でトップに近づくことです。毎年20回以上大会に参加し、勝ったり、負けたり、笑ったり、泣いたり、悔しい思いがバネになり週２回懸命に練習しています。そして健康年齢90才を目指して頑張っています。死ぬまでラケットを握っているかも・・・・・？

矢切クラブ

設　　立	昭和54年
代 表 者	佐々木　清子
所属人数	女性５名
練 習 日	木曜日 （11：00－13：00）
練習場所	柿ノ木台公園体育館

〈チーム紹介〉

永年矢切クラブの会長をされていた片山陽理様が急逝され大変動揺致しました、心よりご冥福をお祈りいたします。矢切クラブ員は少ないのですが幸いビジターさんが大勢参加して下さって、練習日はとても活気に満ちています。また年一回お楽しみ会の抽選ダブルス戦を行い、親睦を深めています。

弥生クラブ

設　　立	昭和58年３月20日
代 表 者	鈴木　ハツエ
所属人数	女性25名
練 習 日	火曜日・金曜日
練習場所	六実クリーンセンター 体育室

〈チーム紹介〉

昨年創部30周年。創部以来、新年の初打ちはおしゃもじでの卓球大会を恒例行事としています。会員の健康と親睦を図る目的で週２回、みんな仲良く楽しく練習しています。

ゆりの木クラブ

設　　立	平成15年３月
代 表 者	小瀬村　春行
所属人数	男性９名　女性11名
練 習 日	日曜日・祝祭日 （13：00－15：00）
練習場所	馬橋北小学校体育館

〈チーム紹介〉

新松戸ダイエー前より馬橋方面に向かう通り、いわゆる「ゆりの木通り」があります。その地域に練習場所、馬橋北小学校があり、以前は馬橋北小 PTA のクラブとして活動しておりましたが､平成15年に「ゆりの木クラブ」に改名し松戸市卓球協会に登録しました。今となっては、高齢者達のメンバーとなり若い人たちの参加を希望している所です。基本練習とダブルスを中心に、親睦と健康、楽しみながら少しでも上達をと願って練習しております。また、恒例になっている忘年会は盛り上がり、楽しみの一つとなっております。忘年会だけ参加する人達も多いのです。ゆりの木クラブはどなたでも歓迎、皆さんの練習参加をお待ちしております。

ラージ卓球愛好会

設　　立	平成元年９月１日
代 表 者	土屋　三郎
所属人数	男性26名　女性24名
練 習 日	月曜日・金曜日 （13：00－15：00） 追加練習　水曜日 （13：00－15：00）
練習場所	運動公園体育館卓球室と体育館２ＦＡ面（追加練習時）

〈チーム紹介〉

１．会員相互の親睦を図り、健全なスポーツクラブの確立を目指す。

２．会員の平均年齢が70歳を超えるが、全員スポーツ保険に加入し練習参加の比率は高い。

３．普段の合同練習の他合宿・お楽しみ会等会員間の交流の機会も多い。

４．本年25周年を迎え、10月に記念式典を行った。

ラベンダー

設　　立	平成８年４月
代 表 者	菅原　美和
所属人数	女性８名
練 習 日	特定日なし
練習場所	特定せず

〈チーム紹介〉

私たちは、メンバーが多忙で全員揃っての練習がなかなか出来ず、チームの練習日は特に決まっていません。各自が日々、課題を定め、練習に励んでいます。本年、「第一三共レディース全国大会（団体の部）」千葉県代表を勝ち取り、皆で念願の全国大会出場を果たしました。全国大会を経験したことで、メンタル、技術体力など様々な課題が見えてきました。これからもお互いに切嵯琢磨しながら、仲良く、楽しく、強いチームを築いていきたいと思います。

松戸市役所卓球部

設　　立	昭和39年２月25日
代 表 者	吉岡　弘
所属人数	男性29名　女性９名
練 習 日	月曜日・木曜日
練習場所	柿ノ木台公園体育館

〈チーム紹介〉

市役所卓球部も協会設立とほぼ同時期に創立され、昭和63年より連続出場している全日本実業団選手権において７年ぶりのベスト16に入る。21年目を迎えた全国市役所卓球大会においては創立50年を迎えた節目の年に二度目のアベック優勝ができ大変嬉しく思っています。

創立当初より、部員相互の親睦を図る事はもとより人格及び体力の向上に務める為、増々頑張っていきたいと思います。

全国市役所大会入賞の記録

回数	年度	開催地	男子	女子	回数	年度	開催地	男子	女子
1	H5	仙台（宮城）	準優勝	—	11	H15	高知（高知）	—	—
2	H6	八王子（東京）	３位		12	H16	千葉（千葉）	優勝	—
3	H7	松本（長野）	３位	３位	13	H17	松本（長野）	優勝	—
4	H8	黒石（青森）	３位		14	H18	富士宮（静岡）	３位	—
5	H9	浜松（静岡）	３位	準優勝	15	H19	八戸（青森）	準優勝	—
6	H10	水沢（岩手）	—	３位	16	H20	広島（広島）	優勝	優勝
7	H11	神戸（兵庫）	優勝	—	17	H21	町田（東京）	優勝	準優勝
8	H12	小田原（神奈川）	—	準優勝	19	H23	秋田（秋田）	準優勝	優勝
9	H13	岡谷（長野）	準優勝	３位	20	H24	岡山（岡山）	優勝	—
10	H14	仙台（宮城）	—	—	21	H25	青森（青森）	優勝	優勝

全国・国際大会でのおもな成績

年度	大　会　名	種目	成績	選　手　名（所　属）
S43	国民体育大会（競技卓球）	成年男子団体１部	準優勝	北村秀樹・八代幸雄　他（千葉県）
	全日本軟式卓球選手権	男子複	優勝	北村秀樹・八代幸雄（荻村化学）
	〃	混合複	優勝	北村秀樹・栗谷川正子（荻村化学）
S44	国民体育大会（競技卓球）	成年男子団体１部	３位	北村秀樹・八代幸雄　他（千葉県）
	第4回全関東社会人卓球選手権	男子複	優勝	北村秀樹・八代幸雄（荻村化学）
	〃	混合複	優勝	北村秀樹・栗谷川正子（荻村化学）
S46	第31回世界卓球選手権名古屋大会	男子複・混合複		古川敏明・鎌田信幸（日本代表）
	全日本軟式卓球選手権	女子単	優勝	栗谷川正子（荻村化学）
	全日本実業団選手権	男子団体一部	優勝	荻村化学
S47	第１回アジア卓球選手権北京大会	男子団体	優勝	古川敏明　他（日本代表）
	関東高校選手権大会	女子単	優勝	島田清子（和洋女子高）
S53	第12回全日本社会人卓球選手権	30歳男子単	優勝	五十嵐一郎（サンウエル工業）
S54	第14回全関東社会人卓球選手権	男子単	優勝	五十嵐一郎（サンウエル工業）
S55	全日本軟式卓球選手権	60歳男子単	優勝	鈴木敬美（松戸ベテラン会）
	第15回全関東社会人卓球選手権	30歳男子単	優勝	五十嵐一郎（サンウエル工業）
S56	全日本軟式卓球選手権	オールドベテラン	優勝	鈴木敬美（松戸ベテラン会）
S58	第18回全関東社会人卓球選手権	30歳男子	優勝	五十嵐一郎（三友プラスティック工業）
S59	全日本卓球選手権カデットの部	女子単	準優勝	大場範子（和洋女子中）
S60	第16回全国中学校卓球選手権	女子単	優勝	大場範子（和洋女子中）
	全日本卓球選手権カデットの部	女子単	準優勝	大場範子（和洋女子中）
S61	第17回全国中学校卓球選手権	女子単	準優勝	大場範子（和洋女子中）
	第9回全国ﾚﾃﾞｨｰｽ卓球大会	女子複Ａランク	準優勝	戸田純子・古川直子（個人）
S62	関東高校卓球選手権	女子単	優勝	大場範子（和洋女子高）
	全日本卓球選手権カデットの部	男子単	準優勝	大場慶育（西新井中）
	全国高校卓球選手権	女子単	３位	大場範子（和洋女子高）
	第11回全国ﾚﾃﾞｨｰｽ卓球大会	女子複Ａランク	３位	西村律子　他（個人）
S63	第7回全国クラブチーム卓球選手権	男子３部	優勝	コスモスポーツクラブ
	第22回全日本社会人卓球選手権	40歳男子	準優勝	五十嵐一郎（コスモスポーツクラブ）
H１	全関東高校卓球選手権	女子単	優勝	大場範子（和洋女子高）
	第8回全国クラブチーム卓球選手権	男子団体３部	準優勝	コスモスポーツクラブ
H２	第9回全国クラブチーム卓球選手権	男子団体３部	優勝	コスモスポーツクラブ
	第15回全国ﾚﾃﾞｨｰｽ卓球大会	女子複Ａランク	３位	西村律子（個人）
	全日本学生卓球選手権	女子単	５位	大場範子（中央大学）
H３	第10回全国クラブチーム卓球選手権	男子団体３部	３位	コスモスポーツクラブ
	全日本卓球選手権	女子単	３位	大場範子（中央大学）
	全日本学生卓球選手権	女子単	５位	大場範子（中央大学）
H４	第11回全国クラブチーム卓球選手権	男子団体２部	準優勝	コスモスポーツクラブ
	〃	男子団体３部	ベスト８	コスモスポーツクラブ
	全日本卓球選手権	女子単	３位	大場範子（中央大学）
	全日本学生卓球選手権	女子単	３位	大場範子（中央大学）
	全日本軟式卓球選手権	男子複	ベスト８	村上雅治（松戸市役所）
H５	全日本学生卓球選手権	女子単	３位	大場範子（中央大学）
	国民体育大会（競技卓球）	成年男子団体２部	３位	大川典昭・佐藤茂伸　他（千葉県）
	第12回全国クラブチーム卓球選手権	男子団体３部	ベスト８	コスモスポーツクラブ
H６	全日本卓球選手権	女子単	５位	大場範子（さくら銀行）
	第13回全国クラブチーム卓球選手権	男子団体３部	ベスト８	コスモスポーツクラブ
H７	全日本軟式卓球選手権	男子単	４位	佐藤茂伸（卓修会）
	全日本卓球選手権	女子単	５位	大場範子（さくら銀行）
	第14回全国クラブチーム卓球選手権	男子団体１部	７位	卓修会
	〃	男子団体３部	ベスト８	コスモスポーツクラブ

年度	大　会　名	種目	成績	選　手　名（所　属）
H８	全日本軟式卓球選手権	40歳女子単	３位	西村律子（個人）
	全日本卓球選手権	女子単	７位	大場範子（さくら銀行）
H９	全日本軟式卓球選手権	40歳女子単	ベスト８	西村律子（個人）
H11	第18回全国クラブチーム卓球選手権	男子団体1部	６位	卓修会
	全日本軟式卓球選手権	男子複	ベスト８	佐藤茂伸（卓修会）
	〃	30歳男子単	ベスト８	大川幸雄（卓修会）
	〃	40歳女子単	ベスト８	西村律子（個人）
H12	全日本軟式卓球選手権	40歳女子単	準優勝	西村律子（個人）
H13	全日本実業団卓球選手権	男子団体２部	準優勝	松戸市役所
	全日本軟式卓球選手権	40歳女子単	３位	西村律子（個人）
	第20回全国クラブチーム卓球選手権	男子団体４部	ベスト８	コスモスポーツクラブ
	関東学生卓球選手権	男子複	優勝	石川貴陽（中央大学）
	全日本学生卓球選手権	男子複	３位	石川貴陽（中央大学）
H14	全国高校選抜卓球大会	男子単	優勝	八木智也（専修大松戸高）
	第36回全日本社会人卓球選手権	男子単	ベスト16	太田高史（松戸市役所）
H17	全日本卓球選手権マスターズの部	女子単ハイシックスティ	８位	石渡利子（アイリス）
H18	全日本実業団卓球選手権	男子団体	ベスト16	松戸市役所
H20	全日本卓球選手権カブの部	男子単	ベスト16	吉田大輔（TOMAX）
H21	全日本ホープス東日本ブロック大会	男子団体	準優勝	TOMAX（木村駿太・吉田大輔・葉波啓）
	全国ラージボール大会	混合複 A150歳代	優勝	村上正文他（コスモスポーツクラブ）
	〃	男子複 A150歳代	準優勝	村上正文他（コスモスポーツクラブ）
H22	全日本ホープス東日本ブロック大会	男子団体	優勝	TOMAX（吉田大輔・葉波啓・松井充輝・ 横井啓真）
H23	関東中学校体育大会	男子団体	５位	松戸六中
	〃	男子単	ベスト16	吉田大輔（松戸六中）
	FID ジャパン・チャンピオンシップ大会	男子単	４位	竹守彪（TOMAX）
	FID ジャパン・チャンピオンリーグ大会	男子単	準優勝	竹守彪（TOMAX）
	関東中学選抜卓球大会	男子団体	準優勝	松戸六中
	全国中学選抜卓球大会	男子団体	ベスト16	松戸六中
	全日本卓球選手権カデットの部	男子複	ベスト16	木村駿太・吉田大輔（TOMAX）
	〃	13歳以下男子単	ベスト16	吉田大輔（TOMAX）
H24	関東中学体育大会	男子単	ベスト16	葉波啓　（松戸六中）
	全国中学総合体育大会	男子単	７位	吉田大輔（青森山田中）
	全日本卓球選手権カデットの部	14歳以下男子単	６位	葉波啓（TOMAX）
	全日本卓球選手権マスターズの部	女子単ローセブンティ	７位	石渡利子（アイリス）
	FID ジャパン・チャンピオンシップ大会	男子単	準優勝	竹守彪（TOMAX）
	〃	男子複	優勝	竹守彪（TOMAX）
	〃	男子単	ベスト16	松井昂揮（TOMAX）
	FID ジャパン・チャンピオンリーグ大会	男子単	準優勝	竹守彪（TOMAX）
	〃	男子単	14位	松井昂揮（TOMAX）
H25	関東中学体育大会	男子単	準優勝	葉波啓（松戸六中）
	全国中学総合体育大会	男子単	７位	吉田大輔（青森山田中）
	〃	男子単	ベスト16	葉波啓（松戸六中）
	全日本卓球選手権マスターズの部	男子単ハイシックスティ	ベスト16	古川敏明（サザンクロス）
	〃	男子単ハイシックスティ	ベスト16	五十嵐一郎（コスモスポーツクラブ）
	全日本実業団卓球選手権	男子団体	ベスト16	松戸市役所
	FID ジャパン・チャンピオンシップ大会	男子単	優勝	竹守彪（TOMAX）
	〃	男子複	優勝	竹守彪（TOMAX）
	〃	男子単	ベスト16	松井昂揮（TOMAX）
	韓国 PTT オープン卓球大会	男子団体	優勝	竹守彪　他（日本代表）
	〃	男子単	３位	竹守彪（日本代表）

＊ FID は日本知的障がい者卓球連盟の略称、 FID ジャパン・チャンピオンシップは知的障がい者の全日本選手権大会
＊ PTT は世界卓球連盟のパラ卓球委員会の略称

千葉県民体育大会（松戸チーム）優勝の記録

年　度	会　　場	種　目	選　　手
S45	（第23回）千葉市	男子	・古川　敏明・鎌田　信幸・阿江　正章・安達 ・名島　馨辰・青柳　兼次・小林　成一
S46	（第24回）千葉市	女子	・栗谷川正子・高埜　栄子・海老原早苗・湯浅　和子 ・島田清子
S52	（第30回）千葉市	男子	監督　南部　　実 ・田河　公生・尾形　　治・五十嵐一郎・八幡　益男 ・窪木　洋治・丸岡　新一・増田　隆一
		女子	監督　高杉　宏希 ・風口　和子・古川　直子・佐々木時子・田中　直美 ・浅野　邦子
S58	（第36回）千葉市	男子	監督　五十嵐一郎 ・小峰　敏資・佐藤　至弘・八幡　益男・五十嵐一郎 ・浜口　正人・北原　大治・沢田　裕仁・大川　幸雄 ・染谷　幸雄
		女子	監督　近藤　　弘 ・戸田　純子・中泉　章子・高橋　邦子・平　　康 ・安原　千恵
S62	（第40回）成田市	女子	監督　八幡　益男 ・石川　清子・古川　直子・佐々木時子・賀川　節子 ・大高　昭子・篠塚　清美・大場　範子・岡本　直子 ・白江美智子
H5	（第46回）市原市	男子	監督　五十嵐一郎 ・小峰　敏資・水本　　進・西本　公英・小山　富雄 ・村上　雅治・大川　典昭・染谷　幸雄・佐藤　茂伸 ・大川　幸雄・青山　　健・松尾　　明・山之内一成 ・五十嵐一郎
H9	（第50回）千葉市	男子	監督　五十嵐一郎 ・小峰　敏治・水本　　進・五十嵐一郎・石田　正治 ・大川　典昭・佐藤　茂伸・神谷　一成・大場　慶育 ・青山　　健・石川　貴陽・横山　陽久・村山　雄二
		女子	監督・古川　直子 ・石渡　利子・風口　和子・古川　直子・酒巻　房子 ・石川　清子・西村　律子・戸田　純子・木村　良江 ・岡本　直子・中林めぐみ・佐藤　美和・左近　香織
H13	（第54回）旭　市	男子	監督・高田　　明 ・古川　敏明・山本　文雄・五十嵐一郎・吉岡　　進 ・大川　幸雄・佐藤　茂伸・佐々木　仁・大場　慶育 ・郡司　俊彦・稲葉　大海・吉田　優介・宮澤　雄太
H14	（第55回）千葉市	男子	監督　久保田士郎 ・古川　敏明・山本　文雄・五十嵐一郎・吉岡　　進 ・大川　幸雄・佐々木　仁・大場　慶育・太田　高史 ・郡司　俊彦・稲葉　大海・石川　　潤・金子　周平
H24	（第62回）旭　市	男子	監督　佐藤　茂伸 ・石川　貴陽・石川　　潤・大谷　準也・阿部　純一 ・石井　　匠・吉田　将太・葉波　　悠・和田　優作 ・吉岡　　進・久保田士郎・持田　洋一・工藤　　潔

千葉県民体育大会ハイライト

昭和52年に引き続き、昭和58年の千葉県民体育大会で松戸チームが２回目の男女アベック優勝、平成９年の第50回記念大会で３回目の偉業を達成した。

第36回大会 アベック優勝 松戸選手団

平成13年第54回大会で男子チーム優勝、女子チームも健闘し、３位に入賞した。

男子団体優勝表彰式

第54回大会 女子選手団

第54回大会に古川敏明・大場範子選手も松戸市チームメンバーで参戦

第54回大会で男子優勝に貢献した五十嵐・山本・佐藤・吉岡・大場・稲葉・佐々木選手

第58回大会 女子選手団

第59回大会 松戸選手団

平成25年度で松戸市チームは千葉県民体育大会に連続出場50回を達成した。

第63回大会 女子選手団

石渡利子選手が最優秀選手賞を受賞

第63回大会 男子選手団

千葉県大会（小中学生）優勝者一覧（平成15年度～25年度）

年度	大　会　名	種　　目	選　手　名（　所　属　）
H20	千葉県選手権大会兼全日本選手権大会県予選会カブの部	男子単	吉田大輔　（TOMAX）
H22	千葉県選手権大会兼全日本選手権大会県予選会ホープスの部	男子単	吉田大輔　（TOMAX）
	千葉県中学校新人体育大会	男子団体	常盤平中
	千葉県選手権大会兼全日本選手権大会県予選会カデットの部	男子複	木村駿太 / 吉田大輔　（TOMAX）
H23	千葉県中学校総合体育大会	男子団体	松戸六中
		男子単	吉田大輔　（松戸六中）
	千葉県中学校新人体育大会	男子単	吉田大輔　（松戸六中）
	千葉県選手権大会兼全日本選手権大会県予選会カデットの部	男子複	木村駿太 / 吉田大輔　（TOMAX）
		14歳以下男子単	木村駿太　（TOMAX）
		13歳以下男子単	吉田大輔　（TOMAX）
H24	千葉県中学校総合体育大会	男子単	葉波啓　（松戸六中）
	千葉県中学校新人体育大会	女子団体	新松戸南中
		男子単	葉波啓　（松戸六中）
	千葉県選手権大会兼全日本選手権大会県予選会カデットの部	男子複	葉波啓 / 松井充輝　（TOMAX）
		14歳以下男子単	葉波啓　（TOMAX）
H25	千葉県中学校総合体育大会	女子団体	松戸四中
		男子単	葉波啓　（松戸六中）

松戸市卓球協会主催の大会

春・秋季団体リーグ戦優勝チーム一覧　（平成15 ～ 25年度）

秋季男子団体リーグ戦結果　（毎年度９～ 11月に開催）

ランク/ 年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
男子１部	松戸市役所Ｂ	TEAM　HAPS	卓修会	卓修会	TOMAX　A	松戸市役所
男子２部	馬橋クラブＡ	馬橋フリーダムＡ	松流会Ｂ	松流会Ａ	松流会Ａ	TOMAX　B
男子３部	TEAM　HAPS	チームモトダ	ひので卓球クラブA	TOMAX　A	馬橋フリーダムＡ	チーム米沢
男子４部Ａ	馬橋クラブＢ	日曜クラブＡ	小金原クラブ	コスモ SC　B	TOMAX　B	卓峰会
男子４部Ｂ	コスモ SC　C	松ヶ丘クラブＡ	青松会Ａ	卓峰会	TOMAX　C	青松会Ｃ
男子５部	上二クラブ	イチハラ	松ヶ丘クラブＢ	千歳電気Ａ	アフターズＡ	青松会Ｄ
	チームモトダ	馬橋フリーダムＣ	日曜クラブＢ	TOMAX　B	ベアーズ	北部クラブ
	日曜クラブ	和名ヶ谷中Ａ	アフターズＡ	ゆりの木クラブ	松戸六中Ａ	ゴンチクラブ
	松戸連合	松戸三中	チーム米沢	根木内中Ａ	常盤平中Ａ	新松戸ウイングス

ランク/ 年度	H21	H22	H23	H24	H25
男子１部	TOMAX　A	松戸市役所	TOMAX　A	TOMAX　A	松戸市役所
男子２部	卓峰会	青松会Ａ	松戸市役所	TOMAX　C	青松会Ａ
男子３部	日本リーテックA	東友クラブ	新松戸ウイングスA	馬橋フリーダムＡ	南部クラブＡ
男子４部Ａ	東友クラブ	馬橋フリーダムＡ	コスモ SC　B	小金原クラブ	チーム MMC
男子４部Ｂ	南部クラブＢ	松馬会Ａ	松馬会Ａ	南部クラブＢ	小金原クラブ
男子５部	青松会Ｂ	馬橋フリーダムＣ	卓峰会Ｂ	青松会Ｅ	コスモ SC　B
	ゆりの木クラブ	松戸六中 OB	チーム米沢	ベアーズＢ	ベアーズＢ
	アフターズＡ	グリーンクラブＡ	小金高校Ａ	チーム MMC	ひので卓球クラブA
	青松会Ｄ	新松戸ウイングス	青松会Ｅ	南部クラブＣ	松ヶ丘クラブＡ

春季男子団体リーグ戦結果　（毎年度２～３月に開催）

ランク/ 年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
男子１部	松戸市役所Ｂ	松戸市役所Ｂ	卓修会	卓修会	松戸市役所	松戸市役所
男子２部	TEAM　HAPS	南部クラブＢ	日曜クラブＡ	松戸市役所Ａ	松ヶ丘クラブＡ	南部クラブＢ
男子３部	馬橋フリーダムＢ	松馬会Ａ	青松会Ａ	コスモ SC　B	TOMAX　B	卓峰会
男子４部Ａ	青松会Ｃ	ICHIHARA	まっくＡ	青松会Ｂ	常盤平中Ａ	千城電気Ａ
男子４部Ｂ	チームモトダ	ひので卓球クラブA	コスモ SC　C	南部クラブＡ	チーム米沢	新松戸ウイングス
男子５部	フレックス	青松会Ｂ	暁	チーム米沢	東友クラブ	ベアーズＢ
	南部クラブＣ	まっく	常盤平中Ａ	小金原クラブ	ひので卓球クラブB	松ヶ丘クラブＢ
	チーム０７２　B	松戸六中Ａ	松戸三中Ｂ	TOMAX　C	卓峰会	小金原クラブＢ
	ひので卓球クラブ	松戸連合	北部クラブＡ	TOMAX　D	南部クラブＣ	東友クラブ

ランク/ 年度	H21	H22	H23	H24	H25
男子１部	松戸市役所	青松会Ａ	TOMAX　A	松戸市役所	
男子２部	日本リーテックＡ	チーム米沢	チーム米沢Ａ	チーム米沢Ａ	
男子３部	チーム米沢	馬橋フリーダムＡ	コスモ SC　A	新松戸ウイングスA	
男子４部Ａ	小金原クラブＢ	ひので卓球クラブA	チーム米沢Ｂ	青松会Ｂ	
男子４部Ｂ	常盤平中	青松会Ｂ	ベアーズＡ	青松会Ｄ	
男子５部	松馬会Ａ	松戸六中	アフターズ	市立松戸高Ａ	
	松馬会Ｂ	ゆりの木クラブ	グリーンクラブＡ	卓峰会Ｂ	
	コスモ SC　C	常盤平中Ｂ	馬橋クラブＣ	市立松戸高Ｂ	
	松ヶ丘クラブＢ	松馬会Ｂ	チキンパニック	TOMAX　D	

秋季女子団体リーグ戦結果　（毎年度９～11月に開催）

ランク/ 年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
女子１部	矢切クラブ	小金原クラブ A	ラベンダー	小金原クラブ A	青松会 A	小金原クラブ A
女子２部	青松会 B	松ヶ丘クラブ A	日曜クラブ	青松会 A	TOMAX　A	松戸市役所
女子３部	こがね	ラベンダー	かるみあ	かるみあ	かるみあ	日曜クラブ
女子４部 A	北部クラブ	コスモ SC	ひので卓球 A	青松会 B	松戸市役所	小金南中 A
女子４部 B	松戸六中 A	弥生クラブ	北部クラブ A	TOMAX　A	アフターズ A	北部クラブ A
女子５部	東パーク	水金会 B	すみれ	小金原クラブ B	水金会 B	小金南中 B
	水金会 C	矢切クラブ	水金会 B	北部クラブ A	弥生クラブ	常盤平中 B
	ラベンダー	かるみあ	松ヶ丘クラブ B	松ヶ丘クラブ B	根木内卓球	矢切クラブ B
	南部クラブ	松戸市役所	アフターズ A	水金会 B	南部クラブ	松ヶ丘クラブ B

ランク/ 年度	H21	H22	H23	H24	H25
女子１部	松戸市役所	小金原クラブ A	矢切クラブ A	小金原クラブ A	青松会 A
女子２部	矢切クラブ A	矢切クラブ A	北部クラブ A	アフターズ A	小金原クラブ A
女子３部	こがね	アフターズ A	コスモ SC	弥生クラブ A	コスモ SC
女子４部 A	小金原クラブ B	コスモ SC	さくらクラブ	小金中 B	フリージア
女子４部 B	常盤平クラブ	根木内卓球クラブ	TOMAX　A	常盤平クラブ	火木会
女子５部	小金南中 B	松戸四中 B	火木会 C	北部クラブ B	ラベンダー
	小金南クラブ	アフターズ B	弥生クラブ B	火木会 B	青松会 B
	コスモ SC	松戸四中 A	矢切クラブ B	フリージア	松戸六中 A
	和名ヶ谷中	常盤平中 B	弥生クラブ A	八ヶ崎卓球クラブ	松戸六中 B

春季女子団体リーグ戦結果　（毎年度２～３月に開催）

ランク/ 年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
女子１部	矢切クラブ	小金原クラブ A	ラベンダー	小金原クラブ A	小金原クラブ A	松戸市役所
女子２部	根木内中 A	ラベンダー	火木会 A	八ヶ崎卓球クラブ	火木会	八ヶ崎卓球クラブ
女子３部	火木会 A	小金原クラブ B	松戸六中 A	TOMAX　A	松戸市役所	北部クラブ A
女子４部 A	松戸三中 A	かるみあ	アフターズ A	コスモ SC	ピンポンパン	矢切クラブ B
女子４部 B	ラベンダー	松戸三中 A	松戸三中	小金原クラブ C	根木内卓球クラブ	常盤平中 A
女子５部	松戸三中 B	アフターズ	闘薫	松戸三中	小金南中 A	北部クラブ B
	松ヶ丘クラブ B	市立松戸高	まっく	松戸市役所	常盤平中 A	馬橋フリーダム
	アフターズ B	根木内中 C	河原塚中 A	根木内中 A	小金高校	ひので卓球クラブB
	松戸六中 B	闘薫	ピンポンパン A	松戸一中 A	根木内中 A	常盤平クラブ A

ランク/ 年度	H21	H22	H23	H24	H25
女子１部	松戸市役所	矢切クラブ A	小金原クラブ A	松戸四中 A	
女子２部	こがね	こがね	こがね	弥生クラブ A	
女子３部	常盤平クラブ	根木内卓球 A	松戸市役所	松戸市役所	
女子４部 A	馬橋フリーダム	常盤平中 B	弥生クラブ A	常盤平中 A	
女子４部 B	小金原クラブ C	松戸四中 A	ピンポンパン	松戸四中 B	
女子５部	すみれ	うえぽよ	南部クラブ	松戸四中 D	
	ひので卓球クラブB	火木会 B	松戸四中 E	常盤平中 B	
	サクラクラブ	小金南中 A	松戸四中 F	常盤平中 C	
	ピンポンパン A	常盤平中 D	小金中 B	グリーンクラブB	

50周年記念秋季団体リーグ戦スナップ

編集後記

「水を飲んで井戸を掘った人を忘れるな」との諺があります。本記念誌「50年のあゆみ」の中で紹介させて頂いたように、松戸市卓球協会の創設と再開に携われた関係者のご努力、その後の松戸選手の活躍、卓球普及のために尽力された多くの方々がおられ、今日の卓球協会があります。若い力の台頭、中高年層の頑張りは近い将来の更なる活躍を予感させます。

これまでに先人が残された偉業を忘れずに、松戸市卓球協会の50周年を皆さんと共にお祝いし、60周年に向けた新たな展開を皆さんと共に誓いたいと思います。

最後になりますが、大変お忙しい中、ご祝辞をお寄せいただいた本郷谷松戸市長様はじめ関係各位に御礼申し上げます。記念誌のデザイン編集と印刷にあたり尽力頂いた株式会社大東の藤井敦氏と株式会社 TOP 印刷の北川圭一氏、松戸市卓球協会50年のあゆみの中でいくつかの写真を掲載させて頂いた公益社団法人日本卓球協会、荻村商事株式会社、日本卓球株式会社、ベースボールマガジン社、株式会社タマスのご協力とご支援に対し感謝申し上げます。

編集委員；吉岡弘（委員長）、津久井隆信、井上好昌、田中美香、渡辺敦子

松戸市卓球協会創立50周年記念誌

2014年２月９日　発行

発　行　者　　松戸市卓球協会
発行責任者　　村上　正文
編　　集　　記念誌編集委員会